



地域に帰って、学んだこと活かす
これまでの活動をブラッシュアップ



一級建築士
設計事務所勤務
京都景観エリアマネージャー2001号

阿部 麻衣子

建築設計の仕事をしていて、設計するときの考え方の幅を広げたいと思い受講しました。基礎理論の講座は大変わかりやすく、また歴史、文化、法律など様々な観点から景観を学ぶのは新鮮で面白かったです。



行政書士
服部行政法務事務所
京都景観エリアマネージャー4011号

服部 真和

全国で最も厳しいと言われる京都の景観条例は奥が深く、根本的な考え方から学ぼうと考え受講しました。今後は行政書士として地域コミュニティと密接に関わりを持った活動ができればと考えています。



公務員
行政建築職
京都景観エリアマネージャー 2027号

和田野 美久仁

行政の建築職として、景観の知識・考え方だけでなく、その背景にある文化も学ぶことによって、幅のある考え方をもちたいと思い受講しました。法務等、建築以外の専門の方と意見交換する機会があったことも大きな収穫でした。

これまでの受講者(平成22年度~平成28年度)

●基礎講座受講者数:193名(通年) ●実践講座受講者数:82名(通年) ●京都景観エリアマネージャー登録者数:54名

京都景観エリアマネジメント基礎講座 受講者募集内容

- 会場** 京都市景観・まちづくりセンター ひとまち交流館 B1ワークショップルーム
〒600-8127 京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83番地の1 (河原町五条下る東側)
<http://machi.hitomachi-kyoto.jp/index.html>
- 時間** 13:30 ~ 18:00 (講義により変わる場合があります)
- 受講料** 通年(全8回):一般35,000円, NPO会員30,000円 (単回でも参加できます 5,000円/回)
出席できなかった講座は次年度に限り、無料で受講できます。
学生割引あり 学生(大学院、大学、専門学校など)は単回5,000円を2,500円に。全8回出席でも20,000円!
- 定員** 40名
この講座は、建築士会のCPDプログラムとして認定されています(各回3単位)。
- 主催** NPO法人 京都景観フォーラム/(公財)京都市景観・まちづくりセンター
- 後援** 京都府、京都市、(公社)土木学会関西支部

定員は40名。先着順ですのお早めにお申込みください。

平成29年度 京都景観エリアマネジメント基礎講座 受講申込書

以下の項目をメールか FAXでお送りください。 **Mail** kkf@kyotokeikan.org **FAX** 075-491-9663

フリガナ 氏名	住所 〒
連絡先 TEL () -	E mail
勤務先又は 学校名	受講料:通年の方は7月10日までに、指定の口座に振り込んで下さい。 (口座は改めてお知らせいたします。) 単回の方は講座受講の際にお持ち下さい。
●通年(全8回) ●単回(第__回) ※どちらかに○をつけてください。	
<input type="checkbox"/> NPO会員(新規) <input type="checkbox"/> NPO会員(継続) <input type="checkbox"/> 非会員 ※いずれかにチェックしてください。	
NPO会員には年会費3,000円が必要です。 ※詳しくはHPをご覧ください。 http://kyotokeikan.org/	



景観とまちづくりをちゃんと学ぶ



平成29年度 京都景観エリアマネジメント講座 基礎講座 受講者募集

定員
40名
(先着順)



景観整備機構
NPO法人 京都景観フォーラム

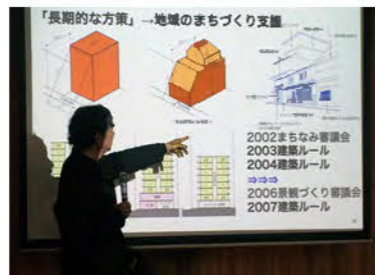
素晴らしい景観と それを守ってきたまち、京都。 景観と人と文化の関わりを学びます

「景観まちづくり」を進める際には、その地域の歴史や文化、経済の状況、人々の暮らし方などのさまざまな情報を読み取る必要があります。本講座では、こうした各方面の専門家を養成することを目的に、景観まちづくりについて基本的な知識を学びます。

景観に関して日本を代表する講師と バラエティに富んだ講義内容

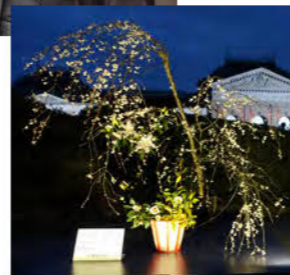
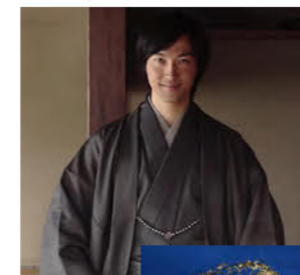
本講座は、景観とは何かという基礎理論から、京都のまちの特性と歴史を学ぶとともに、建築や土木・ランドスケープ、政策や法律、まちづくりなどの理論や考え方などに視野を広げつつ、日本人の美意識や作法も取り入れています。全8回の講座を通じて、「景観まちづくり」についての基本的な視点が身に付きます。

理論も実務もしっかりと



「景観」の基礎理論から政策実務まで

歴史・文化との関わりも



華道家元や美術館館長も講師に迎えています

すべて具体例で読み解く講義



スライドを使って視覚的に学べます

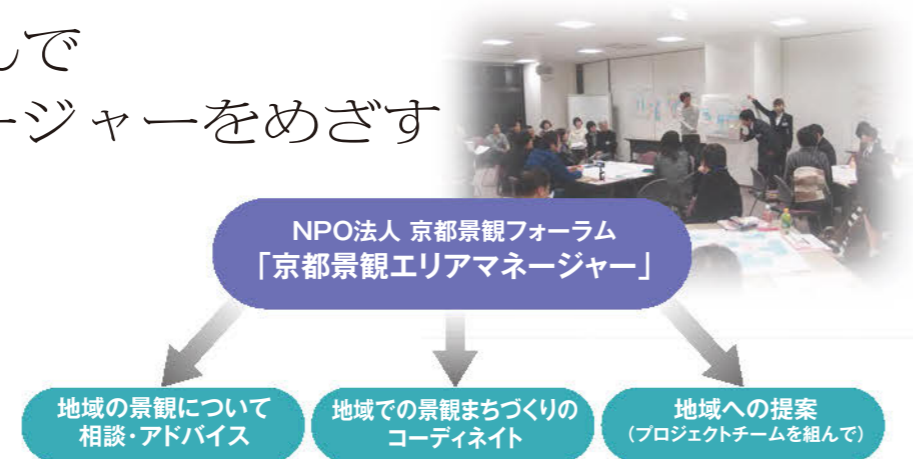
「仲間と学ぶ」楽しさ



ワークショップや懇親会で新しい人脈を築けます

「実践講座」に進んで 景観エリアマネージャーをめざす

「実践講座」ではフィールドワーク、ワークショップなどを通じて、景観まちづくりを支援するための姿勢と技術を学びます。修了後、「京都景観エリアマネージャー」として認定され、当NPO法人の景観まちづくりの活動に取り組むことができます。



講座カリキュラム 講座の時間：各回13:30～18:00(講義により変わる場合があります)

第1回 基礎理論(1)「景観とは何か」 7月8日(土) 13:30～18:00

「景観」の根本の考え方や基本の思想を理解することで、良い景観の客観的な評価の仕方などを学びます。

テーマ 景観とは何か、なぜ景観は重要なのか?良い景観とはどういうことか、景観を良くするにはどうしたらよいのか
講師 堀 繁氏
東京大学大学院教授景観デザイン・景観工学・計画設計思想史・地域計画

第2回 基礎理論(2)「景観のマネジメント」 8月19日(土) 13:30～18:00

景観をマネジメントする意味を世界の歴史都市の事例も交えて学び、そこに必要な専門家の役割を考えます。さらに、京都景観エリアマネージャーとしての役割について考えるワークショップを、受講者の交流もかねて行います。

テーマ 世界の歴史都市の事例と景観エリアマネージャーの役割
講師 宗田 好史氏
京都府立大学教授/ランドスケープ・都市デザイン学・都市計画学

第3回 京都のまちの形成と景観史 9月16日(土) 13:30～18:00

京都のまちがどのように成立し、どのような変容を経て近代・現代の町並みを形成しているのかについて学ぶことで、受け継いできたまちの価値を再認識するとともに、これからの町並みを考えます。

テーマ 都市・京都の成立 ～まちの形成史と景観の変容～
講師 高橋 康夫氏
京大名誉教授/建築史・中世都市史・地域文化論

テーマ 歴史都市の近代的再編
講師 中川 理氏
京都工芸繊維大学工芸学部教授/近代都市・建築史

第4回 土木と景観デザイン 10月21日(土) 13:30～18:00

景観デザインの視点から景観の構造をひも解き、インフラを含めた幅広い観点から、都市のデザインの手法を学びます。

テーマ 京都の景観構造と都市デザインの作法
講師 山田 圭二郎氏
金沢工業大学准教授/景観工学

テーマ 土木のデザイン—国の為、市民の為、それとも
講師 篠原 修氏
東京大学名誉教授・GSデザイン会議代表/景観デザイン、設計・計画思想史

第5回 京の生活文化 11月25日(土) 13:00～18:30 ※この日は時間が変わっていますのでご注意ください。

内容：京都の人々が暮らしのなかで培ってきた「茶の文化」などに代表される生活文化やそれを体現する作法を通じ、根底に流れるもてなしの精神や美意識などが、京都のまちの景観形成にどのように寄与してきたかを学びます。

テーマ 数寄屋の作法
講師 矢ヶ崎 善太郎氏
京都工芸繊維大学大学院准教授/日本建築史・日本庭園史

テーマ 茶の湯の文化
講師 谷 晃氏
野村美術館館長

テーマ 伝統文化から受け継ぐ美意識
講師 笹岡 隆甫氏
華道「未生流笹岡」家元・京都ノートルダム女子大学客員教授

第6回 景観政策と法律 12月16日(土) 13:30～18:00

京都の市民が景観を守るために果たしてきた活動の足跡を知り、法務という側面から市民主体のまちづくりについて学びます。

テーマ 京都の開発・環境・景観・まちづくり 紛争の25年
講師 飯田 昭氏
弁護士 京都第一法律事務所/京都弁護士会公害対策・環境保全委員会

テーマ 景観を保全するための不動産継承対策とは
講師 石田 光廣氏
司法書士 まちづくり司法書士事務所/京都まちづくり継承研究会代表

第7回 建築とランドスケープ 1月20日(土) 13:30～18:00

京都において、建築やランドスケープを景観として成立させるためのプロセスや思想について、他地域での事例を踏まえつつ学びます。

テーマ 日本の美意識表現と現代ランドスケープの融合
講師 佐々木 葉二氏
京都造形芸術大学教授・ランドスケープアーキテクト

テーマ 集まって住む環境のデザイン
講師 江川 直樹氏
関西大学教授・建築家

第8回 景観まちづくり・修了式 2月17日(土) 13:30～18:30 ※この日は時間が変わっていますのでご注意ください。

京都の景観を創っていくのは京都の市民であることを認識し、地域コミュニティの有り方や、価値を共有しながら育てていく景観まちづくりのしくみを学びます。また、2年間の講座修了者のレポートの発表を聴き、専門家として景観エリアマネジメントにどう関わられるかを考えます。

テーマ まちなかにおける景観形成と地域コミュニティ
講師 高田 光雄氏
京大名誉教授・京都美術工芸大学教授/都市計画・居住空間学

修了式 実践講座修了レポート発表と修了式

※各回の講座のテーマや内容は変更されることがあります。